

令和5年度 活動計算書

令和5年6月1日から 令和6年5月31日まで

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	20,000		20,000
賛助会員受取会費			0
2. 受取寄附金			0
きらきら基金助成寄附金	211,851		211,851
きらきら基金運営寄附金	0		0
一般寄附金	4,200		4,200
3. 受取助成金等			0
受取民間助成金			0
4. 事業収益			0
みえNPOネットワーク参画支援事業	0		0
桑名市受託事業	7,050,000		7,050,000
東員町受託事業	1,038,333		1,038,333
サンタの行進事業	7,578		7,578
ガチャボン募金事業	18,000		18,000
コーヒー寄付事業	27,866		27,866
5. その他収益			0
受取利息	29		29
雑収益			0
経常収益計	8,377,857	0	8,377,857
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	5,748,300	0	5,748,300
法定福利費	313,080		313,080
福利厚生費	1,500		1,500
人件費計	6,062,880	0	6,062,880
(2) その他経費			
売上原価			
会議費	44,824		44,824
旅費交通費	261,740		261,740
新聞図書費	9,900		9,900
消耗品費	739,031	0	739,031
賃借料	59,520		59,520
研修費	0		0
通信費	297,812	0	297,812
印刷費	154,886	0	154,886
講師謝金	74,000	0	74,000
広告宣伝費	25,000		25,000
保険料	0		0
支払手数料	16,567		16,567
租税公課	23,600		23,600
きらきら基金助成金	283,800		283,800
コーヒー寄付助成金	15,000	0	15,000
雑費	0		0
その他経費計	2,005,680	0	2,005,680
事業費計	8,068,560	0	8,068,560
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当		0	0
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
会議費			0
旅費交通費			0
消耗品費			0
水道光熱費	0		0
賃借料	1,168		1,168
通信費	40,185		40,185
印刷費	0		0
外注費	240,000		240,000
保険料			0
支払手数料	880		880
租税公課	602		602
雑費	0		0
その他経費計	282,835	0	282,835
管理費計	282,835	0	282,835
経常費用計	8,351,395	0	8,351,395
雑損失	0		0
当期経常増減額	26,462	0	26,462
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
経常外費用計			
経理区分振替額	0	0	26,462
法人税・住民税及び事業税			△ 72,000
当期正味財産増減額			△ 45,538
前期繰越正味財産額			2,822,496
次期繰越正味財産額			2,776,958

令和5年度 貸借対照表
令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

科 目・適 用	金 額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	7,318,263		
缶バッチ在庫	0		
仮払金	214		
流動資産合計		7,318,477	
資産合計			7,318,477
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払費用	26,633		
預り金	16,219		
前受収益	4,426,667		
未払法人税	72,000		
流動負債合計		4,541,519	
負債合計			4,541,519
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			
繰越一般正味財産	2,071,240		
繰越使途限定寄付金	751,256		
前期繰越正味財産合計額		2,822,496	
当期正味財産			
一般正味財産	△ 3,367		
当期使途限定寄付金	△ 42,171		
正味財産増減額		△ 45,538	
正味財産合計			2,776,958
負債及び正味財産合計額			7,318,477

(令和5年6月1日から令和6年5月31日まで)

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

1. 重要な会計の方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改定 NPO会計基準協議会)によっています。

-1 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の掲載について

当会は、市民活動の特徴のひとつである上記提供(いわゆる持ち寄り)によって、活動の大切な部分を支えています。ボランティアな活動は非営利の団体を非営利たらしめる重要な要素のひとつです。

そこで、同基準の重要性の原則に沿って、上記提供を可能な範囲で数値化し、当会の活動での人のうごきとそれを支える財やサービスの存在とを示すために、活動報告書に受入評価益を注記することにします。また、それに対応する受入評価費用も注記して相殺することで、実質的な資金のうごきがないことを示すことにします。

-2 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の取り扱いについて

十分に「合理的または客観的に算定できる」受入益のみを計算することで、実際に提供された受入評価益額よりもかなり小さくなっていますが、それらについても同基準の慣習的な蓄積が少ないことから、今回は実際の資金のうごきとは別覧を設け、注記という形で示すことにします。また、適用覧だけでは十分に説明できないため、末尾にそれぞれの計算の根拠を添付して提示します。また、事業報告書についても、末尾にこれを補う詳細な報告を添付して提示します。

-3 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の金額への換算について

営利法人はその活動に必要なさまざまな経費が金額で換算されています。当会も含めて非営利法人の活動規模を比較可能にするため、原則として、営利法人が当会と同様の活動を行った場合に必要となる費用に換算して示すことにします。非営利団体ならこれぐらいだろうという現時点の、つくられた常識は、実際の非営利の活動をおとしめる非常識に低いものであることを示すためでもあります。

-4 無償もしくは著しく低い価格での財やサービスの提供の種類について

上記の形態で当会に提供されたものは、今回は以下のとおりになります。けれども、これらについて勘案すれば、実際は受入評価益も受入評価費用も、支出科目に対応した種類があるのは自明です。しかし、今回は細かいものについて省くことにします。

ボランティア受入評価	提供された人件費の額
交通費受入評価益	受入人件費が発生する場所に人が移動する必要な額
物品等受入評価益	提供された物品の額
通信費受入評価益	提供されたインターネット関連サービスの額と、通信に必要な額
施設等受入評価益	提供された地代家賃をリース料に換算した額
サービス受入評価益	提供された人件費に換算できないサービスの額

-5 無償もしくは著しく低い価格で提供された人件費評価益について

それぞれの役務に必要な時間の算出について、実際に計測可能なものと平均でこれぐらいという推定の数字にもとづくものがあるため、末尾の計算根拠で判断できるよう注を示すことにします。また、受入人件費について、正味の役務時間であることから、業務毎に単価を設定して計算します。

1000円/時間	特に経験を必要とせず、通常の常識の範囲で対応できる業務
1200円/時間	3年ほどの経験を持ついわゆる若手スタッフが行う業務
1500円/時間	10年ほどの経験を持ついわゆる中堅スタッフが行う業務
2000円/時間	十分な経験を持ち、専門的な知識が必要な業務
5000円/時間	十分に専門的な経験と知識を持ち、他の者にかえ難い業務 (弁護士などの相談料の半分として設定した 10000円/時間)

-6 理事日当の受入人件費評価益について

特定非営利活動促進法上、理事の2/3以上は無報酬であることが定められています。事実、当会の理事は全員、報酬はありません。しかし、理事からボランティアに提供された役務は、現実の資金の移動を伴わないにもかかわらず、当会においては必要欠くべからざる活動の源泉であることから、理事会への出席なども受入人件費評価益に積極的に計上することにし、同法の精神を具体的な数字で見せていくことにします。

-7 使途等が制約された寄付金等について

身近で小さな市民活動団体への応援として少額を助成する「市民活動応援☆きらきら基金」事業を、重要な事業として位置づけて取り組んでいます。その助成原資を同基金事業に使うことを述べ募金をした結果寄付された金額については、その重要性から使途限定の寄付金とし、正味財産の扱いの中で、一般正味財産と区別した別項を設けてこれを表記することにします。

-8 委託事業の前受金処理について

当会の二期にまたがる事業では、終了後残額を返済するという条件がついた委託事業の前受金については、正確な当期の財政規模を示すという観点から、当期に使った額を収入経費として計上し、残額は、前受金と負債として処理することにします。

2. 重要な会計の方針の変更

重要な会計の方針は、本来、軽々に変えるべきではなく、一定のルールによって継続的に行われることにより、比較可能な説明資料としての意味を持ちます。当会が平成22年度より活動計算書を導入したのは、前項、重要な会計の方針で述べているように、「ボランティアな活動は非営利の団体を非営利たらしめる重要な要素」であり、その部分を数字に置き換えて説明可能な形に表示できることが重要と判断したからです。

しかしながら、今期もまた大きな事業に取り組まざるを得ず、いつまでたっても、残念なことに前項の(1)から(6)に掲げる「無償もしくは著しく低い価格で提供された財やサービスの金額換算」について、十分に時間をかけた対応ができなかったため、本活動計算書においてはこの計上を一時延期し、十分な対応を待ってこれを再評価することとしました。誠に申し訳なく、ステークホルダーのみなさまに謝罪申し上げます。後日の再評価をお待ちください。

3. 事業費・管理費の内訳(別掲)

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳(別掲)

5. 借入金の増減内訳(別掲)

6. 役員との取引

(単位;円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引
(活動計算書) 給与手当	5,748,300	3,247,100

3. 事業費・管理費の内訳

事業の種類	資源循環基盤整備事業	助成基金会計	他の収益の無い事業	他の収益のある事業			事業費計	管理部門	合計
	非課税	非課税	非課税	課税	課税	課税			
課税・非課税	非課税	非課税	非課税	課税	課税	課税		非課税	
按分比率	0.00%	なし	0.34%	86.65%	12.76%	0.00%	99.75%	0.25%	100.00%

経常収益									
科目	資源循環基盤整備事業	きらきら基金助成事業	他の収益の無い事業	桑名市市民活動センター運営支援	どういん市民活動支援センター運営支援	みえNPOネットワークセンター参画支援	事業費計	事務局費等	総合計
受取会費								20,000	20,000
きらきら基金助成寄付金		211,851					211,851		211,851
きらきら基金運営寄付金							0		0
一般寄附金	4,200						4,200		4,200
助成金							0		0
委託事業収入①みえNPOネットワークセンター							0		0
委託事業収入②桑名市				7,050,000	1,038,333	0	8,088,333		8,088,333
自主事業収入①サンタの行進		7,578					7,578		7,578
自主事業収入②ガチャボン募金		18,000					18,000		18,000
自主事業収入③コーヒー寄付			27,866				27,866		27,866
受取利息							0	29	29
その他収入							0		0
経常収益合計	4,200	237,429	27,866	7,050,000	1,038,333	0	8,357,828	20,029	8,377,857

経常費用									
科目	資源循環基盤整備事業	きらきら基金助成事業	他の収益の無い事業	桑名市市民活動センター運営支援	どういん市民活動支援センター運営支援	みえNPOネットワークセンター参画支援	事業費計	事務局費等	総合計
1 人件費									
給与				5,384,300	364,000		5,748,300		5,748,300
法定福利費				291,360	21,720		313,080		313,080
福利厚生費				1,500			1,500		1,500
小計				5,677,160	385,720		6,062,880		6,062,880
2 その他経費									
売上原価							0		0
通信費	77,022		0	220,790	0		297,812	40,185	337,997
消耗品	51,828		6,558	633,863	46,782		739,031		739,031
水道光熱費	0						0		0
印刷費	35,585			113,216	6,085		154,886	0	154,886
講師謝金	0			74,000			74,000		74,000
調査協力金							0		0
外注費	0			0			0	240,000	240,000
広告宣伝費				25,000			25,000		25,000
荷造運賃							0		0
会議費	40,896			0	3,928		44,824		44,824
旅費交通費				252,940	8,800		261,740		261,740
新聞図書費				3,600	6,300		9,900		9,900
支払手数料	2,310			11,414	2,843		16,567	880	17,447
賃借料	22,540			36,980	0		59,520	1,168	60,688
租税公課	3,600			0	20,000		23,600	602	24,202
きらきら基金助成金		283,800					283,800		283,800
コーヒー寄付助成金			15,000				15,000		15,000
サンタの行進							0		0
缶バッチ販売							0		0
雑費							0	0	0
小計	233,781	283,800	21,558	1,371,803	94,738	0	2,005,680	282,835	2,288,515
経常費用合計	233,781	283,800	21,558	7,048,963	480,458	0	8,068,560	282,835	8,351,395
雑損失							0		0
経常増減額									
非課税事業	△ 229,581	△ 46,371	6,308				△ 269,644		△ 269,644
課税事業				1,037	557,875	0	558,912		558,912
法人管理費								△ 262,806	△ 262,806
当期経常増減額	非課税事業合計			課税事業合計			289,268	△ 262,806	26,462
みなし寄附金振替				558,912			△ 558,912		0
所得金額							0		0
地方税							△ 72,000	△ 72,000	△ 72,000
総計			289,268				△ 72,000	217,268	△ 262,806
							△ 72,000	△ 262,806	△ 45,538

4. 用途等が制約された寄付金等の内訳

用途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

当会の次期繰越正味財産2,776,958円 ですが、そのうち709,085円 は、下記のとおり用途が限定されています。

したがって、用途が特定されていない一般正味財産は、2,067,873円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
きらきら基金助成原資への用途指定寄付金	585,146	237,429	283,800	538,775	翌期使用予定助成原資
きらきら基金運営資金への用途指定寄付金	80,060	0	0	80,060	翌期使用予定運営原資
きらきら基金運営資金への用途指定助成金等	86,050	4,200	0	90,250	翌期使用予定運営原資
合 計	751,256	241,629	283,800	709,085	

用途限定寄付金の内訳

ひとつめは、ふつうに助成原資への寄付

ふたつめの、運営資金への寄付は、切手を換金した金額を入れる

みつめは、きらきら基金の団体助成で、寄付投票された金額を助成金扱いとして算入している。

令和5年度 所轄庁提出用決算書 注記

5. 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0

令和5年度 財産目録
令和6年5月31日現在

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	384,484		
普通預金三十三銀行桑名支店	2,935,047		
普通預金三十三銀行桑名支店	546,248		
普通預金三十三銀行桑名中央支店	2,769,878		
普通預金三十三銀行桑名中央支店寄付口	682,606		
郵便局振替口座	0		
缶バッチ在庫	0		
仮払金	214		
前払費用	0		
流動資産合計		7,318,477	
資産合計			7,318,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税			
県民税均等割	22,000		
市民税均等割	50,000		
短期借入金	0		
未払費用	26,633		
預り金	16,219		
前受収益	4,426,667		
流動負債合計		4,541,519	
負債合計			4,541,519
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	2,071,240		
前期繰越用途限定寄付金	751,256		
当期一般正味財産	△ 3,367		
当期用途限定寄付金	△ 42,171		
正味財産合計		2,776,958	
正味財産合計			2,776,958

これは財産目録である

令和6年5月31日

特定非営利活動法人みえきた市民活動センター

理事長 小笠原 まき子